

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2021年												2022年															
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月 ~1日	5月 ~8日	5月 ~15日	5月 ~22日	5月 ~29日	6月 ~5日	6月 ~12日	6月 ~19日	6月 ~26日	7月 ~3日	7月 ~10日	7月 ~17日
カンピロバクター	114	65	137	114	169	115	122	85	45	63	84	78	76	34	43	69	6	10	23	10	15	14	12	38	35	36	25 (30)	13
病原性大腸菌	39	25	52	61	55	64	63	45	42	102	62	44	29	41	37	62	20	7	20	14	27	24	24	27	15	4	6 (9)	5
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	2	3	2	0	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
サルモネラ	6	5	3	1	5	8	10	23	9	25	7	4	4	3	7	5	3	0	0	1	1	2	0	1	0	3	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	16	33	19	39	25	17	15	20	26	21	12	35	12	25	20	4	5	6	6	11	4	2	8	8	5	7	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	10	15	25	31	13	14	19	10	18	8	18	19	10	9	19	7	6	5	6	4	3	2	2	1	3	4 (6)	4
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	2	1	3	4	4	0	4	5	3	3	3	3	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1	0	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0
ノロウイルス	4	5	6	11	13	9	0	0	0	0	0	2	4	0	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和4年第28週(7月11日~7月17日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			2		2	1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1			1				
四類	3	日本紅斑熱	3	1		1				1
		重症熱性血小板減少症候群	0							
五類	11	急性脳炎	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1						1	
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	8	1				4	2	1
新型インフルエンザ 等感染症	8,299	新型コロナウイルス感染症	8,299	949	493	578	64	4,235	684	1,296

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1 新型コロナウイルス感染症

第28週に4,235件の報告があり、前週の約2.2倍と大きく増加しました。新規感染者数は、全国的に急速な増加が続いています。マスク着用、3密回避、換気などの感染防止対策を徹底しましょう。

2 RSウイルス感染症

定点当たり5.08人の報告があり、急増しています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避け、おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒、手洗いの励行など、感染予防対策を心がけましょう。

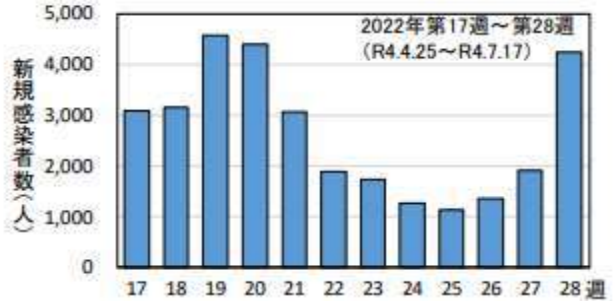
3 ヘルパンギーナ

定点当たり1.08人の報告があり、増加が続いています。ヘルパンギーナの感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染です。回復後も2~4週間程度は便中にウイルスが排泄されます。手洗いの励行、オムツの適切な処理をなど、感染予防対策を心がけましょう。

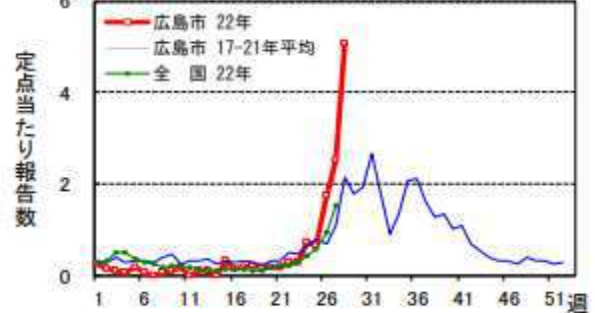
4 手足口病

定点当たり3.38人の報告があり、多い状況が続いています。

新型コロナウイルス感染症新規感染者数の推移(広島市)



RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
フィレン	インフルエンザ	-	-	0.01		小児科	流行性耳下腺炎	-	-	0.15	
小児科	咽頭結膜熱	12	0.50	0.51		眼科	RSウイルス感染症	122	5.08	2.16	↑
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	0.63	1.46	↔		急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	117	4.88	4.05	↔	基幹	流行性角結膜炎	3	0.38	0.63	
	水痘	1	0.04	0.24			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	81	3.38	4.92	→		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.10			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.06	
	突発性発しん	6	0.25	0.39			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	26	1.08	0.83	↔		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	60	70歳代、80歳代
5	急性脳炎	1	4	10歳未満
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	4	50歳代
5	梅毒	4	163	20歳代、30歳代、40歳代、70歳代